

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ワイテック 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町曾田3-74

(3) 業種

3133 自動車部部品・付属品製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、2013年度(平成25年)を基準年度とし、2014年度(平成26年)から2030年度(令和12年)までの16年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1. 中・長期方針

顧客の要請に応えるべく基準年度(2013年度)CO2排出量原単位実績の2030年度50%削減という

CO2排出量原単位の削減目標 を達成できる活動をおこなう。

2. 基本方針

- ① 原油換算エネルギー使用量原単位を前年度実績に対して 1.5% 削減する活動を継続的に実施する。
- ② 全社員一丸となって省エネルギー活動を通してCO2排出量削減に取り組んでいく。

3. 重点施策

- ① 電力使用状況の見える化による徹底した無駄の排除。
- ② 生産の効率向上による省エネ化生産の実施。
- ③ 生産設備に連動した周辺設備の自動運転による無駄の排除。
- ④ 高効率設備機器の導入。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 25 (2013) 年度	令和 3 (2020) 年度
二酸化炭素	6,267	4,535

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	6,267	50.0	3,134	3,134
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	基準年度の排出量の50%削減値を目標年度のCO2排出量とする。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

**生産個数生産個数**

削減率 (%)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 (2013) 年度 (平成 25 (2013) 年度)		削減目標 削減率 (d)	目標年度 (2030) 年度 (令和 12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)		排出量 見込量 (e)	原単位 見込量 (f)	削減率 見込値 (g)
エネルギー起源CO2	6,267	18,457,552	50.0	4,250	25,000,000	0.17
非エネルギー起源CO2						
メタン						
一酸化二窒素						
その他 温室効果ガス						
総排出量						
(原油換算 k l) エネルギー消費原単位	2,391	-	53.8	1,622	-	0.06
目標設定の考え方	基準年度の生産個数に対する原単位の50%削減原単位値を目標年度の原単位値とする。基準年度の生産個数に対する原単位の50%削減原単位値を目標年度の原単位値とする。					

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	原油換算原単位の削減	原油換算原単位 前年度比 1.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率変圧器の更新導入</li> <li>・生産設備と周辺設備の運転を連動自動化</li> <li>・インバータを用いた省力運転の実施</li> <li>・タイマーを活用した自動杵・杵運転</li> <li>・不要な電力使用量の削減</li> </ul>
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

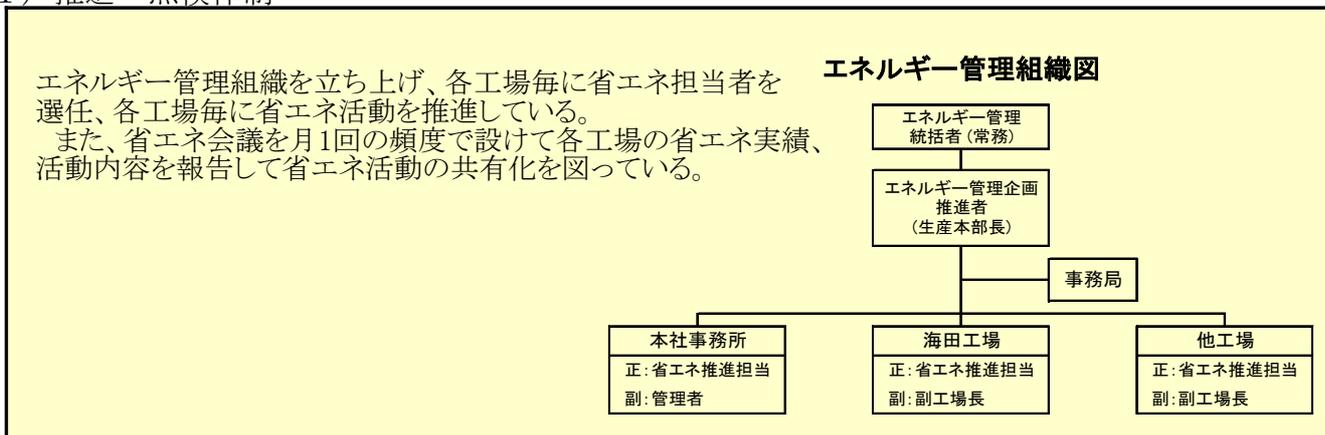
### ○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	定例省エネ会議の開催		各工場で省エネ担当者を選任し、月1回の頻度で省エネ会議を開催して各工場の省エネ状況を報告、また活動内容を他工場に水平展開している。
2	ISO14001 取得		全社挙げてISO14001 に取り組んでいる。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

省エネ会議において各月の電力使用量、CO2換算値、原油換算値を原単位により評価して目標に対する進捗状況を分析、目標未達の場合は原因究明、挽回策を究明している。

### (3) 計画書等の公表

省エネ年度計画書により各月のエネルギー使用量、重点施策の進捗状況のフォローを実施し、省エネ会議においてそれぞれの結果を報告している。